



1人ひとりが頑張った運動会 一生懸命の姿が感動をよぶ

校長 高橋 実

今月の20日、素晴らしい秋晴れの下、新田小学校の大運動会が行われました。どの児童も精いっぱい演技をし、一生懸命に競技をし、最高の運動会だと思っています。思えば、夏休みがあけたばかりのまだ暑い最中から、どの学年も学年種目や学年競技に取り組んできました。初めの頃は、なかなか動きがそろわず、一つ一つ丁寧に動きを確認しながら練習を重ねていきましたが、回数を重ねるたびにどんどん上達し、まとまっていく様子が見られました。練習ではどうしてもうまくいかないところがあった学年も本番では、最高の演技ができました。それぞれの学年ごとの演技はどれも個性豊かで素晴らしかったのですが、その中でも特に印象深いのは、「新田ソーラン2018」です。今年から5年生と6年生と一緒に「ソーラン」をやることにしましたが、そこに至るまでは、それぞれの学年が体育館で意見交換をしたり、悩んだりしました。そして一緒にやると決めたからには、全員が努力し最高のソーランを作り上げてきました。それだけに運動会当日の最高の出来栄えに、喜びも一入だったのではないかと思います。締め太鼓3台、長胴太鼓6台に支えられた勇壮な演技から、やがてソーラン節に移行し、最後は組体操さながらのフォーメーションでフィナーレを飾りました。まさに、世界でただ一つの新田小のソーランでした。やはり2学年合同の迫力は圧倒的でした。そしてこれだけの演技は、5年生で体験した6年生が、次の年の5年生と共にやりながら伝えていくという形が一番良いのではないかと思います。

全員が頑張った運動会ですが、どうしても点数による勝ち負けはついてしまいます。そこで、閉会式で児童の皆さんにこんな話をしました。

「たとえ負けてしまったとしても、一生懸命やったのなら、何も恥じる必要はありません。今日は全員が胸を張ってお家に帰りなさい。そして、今日のことを、お家の人とたくさん話し、夜はゆっくり休みましょう。」

運動会が終わって5日目に、三ツ沢競技場で横浜市小学校体育大会が行われました。6年生は、ここでも精いっぱい走り、「レッツダンス」を踊り、長縄にチャレンジしました。ここでも素晴らしいことが起こりました。新田小学校のリレーチームは、なんと男子も女子もそれぞれのレースで1位をとったのです。黄色いユニフォームが、グリーンと他を引き離して1着でゴールする様に思わず喝采を送りました。学年の先生や陸上競技が得意な先生と共に朝練習を重ねてきた成果がみごとに花開いた瞬間でした。